

## 閉会挨拶

### 全国エリアマネジメントネットワーク 会長 小林 重敬 氏

牧さんから、エリアマネジメントは地方の問題なのか大都市の問題なのかという非常にいい言葉をいただきました。

我々は、エリアマネジメントは大都市だけがやっていて地方は関係ないと言われて続けてきました。今回、福岡でシンポジウムを行い、先ほど2部で大変多彩な都市、小さな地方都市におけるエリアマネジメント、そこにおける人材のビジョンについて話がありました。

特にこれからの地方都市の人材の問題は、ある意味でエリアマネジメントを通して地方都市に人材が育っていく、地方都市が再生する一つの手がかりを得る点で重要です。それこそ我々全国エリアマネジメントネットワークが福岡でシンポジウムを企画した一つの狙いです。福岡でやることによって、九州にある地方の都市におけるエリアマネジメントの状況がどのようなものかということをご皆さんで議論しあいたいというのが一つの大きな目的でした。

もう一つは、エリアマネジメントは社会関係資本という話がございますけれども、人と人の繋がりで、福岡には博多まちづくり協議会とWe love 天神協議会の2つのエリアマネジメント組織があって、両方のマネジメント組織が個別に活動し、ある時は連携している。こういう都市がこれから生まれてくる。そのようにお互いに力を合わせて、大都市の再生を図る。大都市は元気があるからいいという話では必ずしもなくて、私が大手町・丸の内・有楽町地区でまちづくりに関わった時には、丸の内黄昏と言われたところから始めたわけです。そういう意味で、大都市でもこれから様々な事例が出てくると思います。

そしておそらく10年、20年こういうネットワークを活用した活動をやっていき、地方都市で新しい人を介したマネジメントをすることによって再生していったという事例をいくつかネットワークの中で生み出していくというのが極めて重要です。私は全ての都市が再生するとは思っていません。しかしこういう都市が順次生まれて再生していくことが全国エリアマネジメントネットワークとしても期待しているところでございます。そのことを申し上げてこの会を終わらせていただきます。

本日はありがとうございました。